

第30回情報知識学フォーラム

日程： 2026年1月31日(土) 13:00～17:10

場所： 同志社大学 大阪サテライト・キャンパス

大阪市北区梅田1-12-17 JRE梅田スクエアビル17階

実行委員長 河瀬彰宏（同志社大学）

実行委員 Gaetan Rappo（同志社大学）

林正治（国立情報学研究所）

高田良宏（金沢大学）

プログラム

13:00-13:05	開会宣言・開会挨拶
13:05-13:10	趣旨説明
13:10-13:40	講演1：「漢籍共同研究システム「漢學文典」(HXWD.org)と自動翻訳」 Christian Wittern（京都大学）
13:40-14:10	講演2：「Dharmamitra: A data-driven platform for the research of Buddhist texts in multiple languages using advanced NLP methods」 Sebastian Nehrdich（東北大学）
14:10-14:40	講演3：「化粧研究におけるデジタル・ヒューマニティーズ」 足立潤治（同志社大学大学院）
14:40-14:50	休憩
14:50-15:35	総合討論 コーディネーター 河瀬彰宏（同志社大学）
15:35-15:50	休憩
15:50-16:15	ポスター概要発表（1件90秒以内）14件
16:15-17:05	ポスターコアタイム <ol style="list-style-type: none">東南アジアにおける研究データ管理スキームの確立に向けて ○南山泰之（東京大学社会科学研究所）, 大野美紀子, 原正一郎（京都大学東南アジア地域研究研究所）小規模文系私立大学におけるデータサイエンス教育の実践とDX人材育成に関する検討 ○保田洋（流通科学大学）, 宇佐美美紀子（関西学院大学）ジャポニスマ期西洋ピアノ作品における「日本らしさ」の定量比較 ○田代みづほ, 河瀬彰宏（同志社大学）競走馬の走行速度と大気汚染物質に関する定量的研究 ○西川康太, 河瀬彰宏（同志社大学）

	<p>5. 顔の骨格形態が同一メイクによる魅力度向上量に与える影響 ○山本陸登, 河瀬彰宏 (同志社大学)</p> <p>6. 値値理論に基づくヒップホップ歌詞の国際比較と意味差異の可視化 ○大友孝介, 河瀬彰宏 (同志社大学)</p> <p>7. Wikidata とジャパンサーチ利活用データの連携拡充に関する基礎的検討 ○大宮孟史, 大向一輝 (東京大学)</p> <p>8. ポートレースにおける展示タイム順位がレース順位に与える影響の検証 ○近藤杏佳, 河瀬彰宏 (同志社大学)</p> <p>9. 防災研修等において取り扱うべき情報としての気象現象の基礎的事項について—高校生を対象とする実践を通して— ○小川雄太 (兵庫県教育委員会事務局)</p> <p>10. 空海伝における『遺告二十五箇条』の影響の分析 ○三輪玲以佳 (同志社大学大学院), ラポー・ガエタン (同志社大学)</p> <p>11. 日本昔話の物語構造と地域差の定量分析 ○小松碧 (同志社大学大学院), 河瀬彰宏, ラポー・ガエタン (同志社大学)</p> <p>12. 趣味的収集から文化資料へ—駅配布時刻表コレクションのアーカイブ化とその意義 ○花岡諒 (交通情報資料キュレーション研究室)</p> <p>13. 多様な組織が連携する地域資料データにおける利用・連携条件の検討 - AMANE Archives における利用・連携規約の検討を中心に - ○小川歩美, 堀井美里, 堀井洋 (合同会社 AMANE)</p> <p>14. 学術資料 3D データの公開と共有を目指したメタバース展示共有空間の構築 - AMANE における地域資料メタバース展示プロジェクトの実現と課題 - ○堀井洋, 小川歩美, 堀井美里 (合同会社 AMANE), 高田良宏 (金沢大学)</p>
17:05-17:10	閉会宣言